



災害は必ず「想定」を超えてくる

2020年、球磨川の特養水没事件に学ぶ

今月中旬、停滞する前線の影響などで西日本を中心に大雨となり、河川の氾濫や土砂崩れなど大きな被害が生じた。長崎では、在宅高齢者からSOSを受け外出した民生委員の方が被害に遭い行方不明になったという。

昨年7月、熊本県の球磨川(くまがわ)沿いの特養「千寿園」に氾濫した河川が流れ込み、一階に取り残された14名の入居者の命が失われた。気候変動著しい中、どの施設も例外ではない。この事件から何を教訓として引き出せるか、調査検討した結果をお伝えする。

8月20日、ファーストステージ様
内部研修にて橋口代表と。



災害発生から避難までの時系列

- 7月3日午後5時 村が避難準備・高齢者等避難開始を発令
- 同日午後10時20分 村が避難勧告発令
- 4日午前3時半 村が避難指示発令、観測所の推移が氾濫危険水位超える
- 同日同時刻 施設職員が入居者を南側の別棟に集めるなど避難準備を開始
- 同日午前4時50分 気象庁が県内に大雨特別警報発表
- 同日午前6時頃 地域住民が施設に駆けつけ、2階への垂直避難開始
- 同日午前7時頃 施設内に濁流が流れ込み一気に浸水
- 同日午前11時50分 大雨特別警報解除

外岡新聞

8月号

法律事務所おかげさま
〒160-0023
東京都新宿区西新宿
8-9-14 ペイペリー
202号
http://okagesama.jp
TEL:03-5358-9855
FAX:03-6730-6140

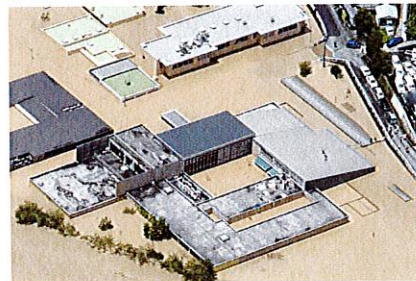


Q A サイト「外岡さんに聞いてみよう！」をリニューアルしました。是非ご覧ください。4月からコンサルタントチームに依頼し、今年はホームページ関連のテーマとしていきます。



○: 特養の施設長
☆: 外岡潤

○: 痛ましい事件でしたね。我が施設も浸水想定区域にあるため、他人事ではありません。しかしコロナの中人員にも限りがあり、いざ氾濫すればあっという間に飲み込まれてしまいそうで、何をすればいいの不安です。



☆: 昨年12月号で紹介したBCPは作成されましたか？

○: いやー、実はまだです。一応厚労省のガイドラインは読んだのですが、初めてなので何からどう手を付けていけばいいのか…

☆: 大丈夫です、まだ3年ありますから。かといってその間に災害は起こるでしょうから、現実にご利用者の命を守るためには早く整備したいものですね。

○: 分かりました。折角の機会ですから、本件のような水害を想定したBCPから作っていきたいと思います。先生、ポイントを教えてください。

☆: BCPとは避難計画と事業復旧計画のハイブリッド型のようなものと思って頂ければ良いのですが、本件のような場合は前者の出番ですね。そして、本件から得られる教訓は「**想定を超える被害に備える**」ということに尽きます。千寿園では、土砂災害は想定し施設から離れた場所を避難場所としていたものの、まさか施設が水没するとは考えていなかったそうです。そのため慌てて垂直避難を始めましたが、道路が使えず他職員の応援が間に合わなかったため、全入居者まで手が回りませんでした。

○: 写真の通り施設が孤立してしまったのですね。確かに、うちも夜間は職員数が手薄ですし、エレベーターもないのでいざという時は車椅子ごと階段から上げるということになります。もっと少ない人数で対処できるよう、訓練計画を見直そうと思います。

☆: なぜ車椅子ごと上げる必要があるのですか？

○: えっ？そりゃ動けないから…



☆: 車椅子のように重いものと一緒に運ぶと遅くなりませんか？私は熊本日日新聞のレポート記事を読んで (<https://kumanichi.com/articles/49689>)、率直にそう思いました。

外岡新聞

8月号

法律事務所おかげさま
 〒160-0023
 東京都新宿区西新宿
 8-9-14 ベイペリー
 202号
<http://okagesama.jp>
 TEL:03-5358-9855
 FAX:03-6730-6140



Q Aサイト「外岡さんに聞いてみよう！」をリニューアルしました。是非ご覧ください。4月からコンサルタントチームに依頼し、今年はホームページ関連のテーマとして入力を課題としています。



外岡流
 趣味の部屋



読めますか? 「黒衣」

歌舞伎や人形浄瑠璃で、観客からは見え
 ないという約束事のもとに舞台上に現われ、
 後見として役者や人形遣いを助けたり、小
 道具を役者に渡したりする係。知らない外
 国人から見れば、「ニンジャがいる!」と思
 われるかもしれません。

これは、「黒衣」と書いて「くろご」と読
 みます。「黒子」(くろこ)は誤用ですの
 で用心(黒子と書いて「ほくろ」と読む)。
 ちなみに、海や水辺の場面には青装束の
 波衣(なみご)・雪の場面には白装束の雪衣
 (ゆきご)となるそう。真つ青なくろご、爽
 やかそうで一度見てみたいものです。

歌舞伎に由来する日常用語は沢山あり、
 「差金」(さしがね)というものもあります。
 「誰の差金だ!」等とスパイを捕まえた主人
 公の刑事が問い詰めるシーンを連想させま
 すが、これは元々作り物の蝶・鳥・人魂な
 どを操るための黒塗りの細い道具のこと。
 これを扱うのは勿論黒衣です。「金」とい
 うだけあり針金を用いますが、昔はクジラの
 ヒゲを使っていたそう。創意工夫を感じま
 すね。

編集後記

昨日、一回目のワクチンを受けました。今のとこ
 ろ体調不良はなく有り難い限りですが、一回目が
 今から気がかりです▼渋谷に予約不要の会場を設
 置したところ、二千人を超える行列ができてしま
 いました。モデルナ製品では異物混入が発覚し、
 自分や家族の身に何が起こりもおかしくない
 状況です▼このような中、ともかくも今日とい
 う一日を健康で過ごせることに感謝の念が湧き
 上がってきます。失って初めて知る健康の大切さ、
 これからも肝に銘じたいと思います。

- 事件時は3人がかりで上げていたそうですが、一刻を争う事態なんですから車椅子から降ろし、一人が一人を運んでいればもう少し早く運んでいたのではないかと。
- : 言われてみればそうですが、もし怪我等させてしまったらと思うと不安ですね。
 - ☆: 民法の「緊急事務管理」(698条)という規定で、本人の身体、名誉又は財産に対する急迫の危害を免れさせるための行為は、悪意又は重大な過失が無い限り免責されるとされています。命を救うためであれば、多少怪我等をさせたとしても仕方ないということです。訓練時にご利用者の体を担ぎ上げることは難しくても、同じ身長・体重の職員や人形を運んでみる等は可能です。大事なことは、災害時には感覚を日常から非常時に「切り替える」ということです。
 - : 分かりました。訓練も毎回同じだとマンネリ化し、緊張感が失われてしまいますね。本件のように、一階が水没したり、いざという時仲間が助けに來れない等、実際には想定外のことばかりでしょうから、より厳しい状況を想定していきたいと思います。
 - ☆: 次のポイントですが、水害に備えて、何か道具は備えていますか?
 - : 救急キットや予備のおむつ、食料、水くらいですね。
 - ☆: 結果論ですが、本件でもライフジャケットや掴まるための浮き輪があれば良かったのではないかと思います。2階に救助用ロープを置いておくとか、1階が水没する状況をリアルに想像して救命具等を備えられると良いでしょう。
 - : 確かに…1%でも水没の可能性がある以上、備えておくべきですね。無駄になれば笑い話で済む訳で、その方がずっとましです。
 - ☆: 最後に、「いつ避難するか」に関し、実は今年の5月に災害対策基本法が改正されています。避難レベルは5段階あるのですが、最重度はこれまで「災害発生情報」という名称でした。これが「緊急安全確保」という名称に変わり、第4段階は「避難指示」、第3は「高齢者等避難」になりました。かつての第4段階を表す「避難勧告」は無くなったので注意しましょう。避難計画を見直し、もしこの言葉があれば上書きする必要があります。本件では前日夜に避難勧告が出た時点で避難開始すべきでした。常に最悪を想定し、怖がりすぎと思う位早い段階で避難するようにしたいものです。

素敵なロボット技術の活かし方：分身ロボットカフェ



ニュース番組で偶々見かけたのですが、感心するサービスだったのでご紹介します。日本橋の「分身ロボットカフェ DAWN」。可愛いロボット「OriHime」が接客してくれ、ドリンクまで作ってくれるのですが、操るのは実はALS患者など難病の方。自宅のベッドに寝た状態でも、カフェの店員ができるのです! 体調不良で急に欠勤になっても、全国どこからでもアクセスできるのでぐ代わりのえ人が見つけられるそう。店員同士の交流もあり、念願の社会参加が実現し世界が広がったといえます。今まで何となく「ロボットやAIは人間から仕事を奪う存在」というイメージがありましたが、なるほどこう使えばいいのかと目から鱗の衝撃でした。近くなので、今度は是非行ってみたいと思います。